

令和2年度第2回印西市国際化推進懇談会 会議録

開催日時 令和2年10月16日（金）午後2時00分～3時30分

開催場所 印西市役所 附属棟 23・24会議室

出席者 宍戸真会長、山口道博委員、坂東昭二委員、富田多美子委員、渡邊信委員、マクドエルデービッドジョン委員、糸井淳委員、岡野誠委員、岩並仁委員、張京玲委員、ラビンドラ デイ委員、許毓婷委員、マイケルフィルハート委員

事務局 企画財政部 小林部長、企画政策課 高平課長、富澤課長補佐、櫻井係長、杉山主査

傍聴者 4名

議事録（要点筆記）

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 部長あいさつ
4. 会長及び副会長の選出について

会長選出まで、高平課長が仮議長を務めた。

委員の互選により、宍戸真委員が会長に、坂東昭二委員が副会長に選出された。

5. 議題

（1）印西市における国際化の推進について

事務局 【資料2に基づき、印西市における国際化推進施策について説明】

【以下、質疑応答】

議長 ただいまの事務局からの説明についてご意見等がございますか。（発言なし）
ご意見がないようですので、議題（1）については以上といたします。

（2）印西市国際化推進方針について

事務局 【資料3・4に基づき、印西市国際化推進方針について説明】

岡野委員 国際化という以上、外国人だけを対象とするのではなく、一般の日本人市民の協力が無いと方針の趣旨は達成できないと考えます。国際化に関する一般市民のニーズや考えを吸い上げる場を設け、市民にとってもメリットがある内容とすることで、より市民の理解を得られるよう努めていくとよいと思います。

事務局 ひとつには、本懇談会がそうした場でありますので、日本人の委員の皆様から忌憚のないご意見をいただければありがたいところです。方針の策定に向けては、日本人の市民から常日頃いただいている意見も参考にしつつ、今後はよりアンテナを高くしてニーズを把握するよう努めたいと考えております。

岩並委員 方針の策定について市民の理解を得るためには、なぜ今新しい方針に変えていかなければならないのかという点をもう少し丁寧に説明した方がよいのではないのでしょうか。実際に、5年前からどのくらい市の状況が変わったのか、また予測される5年後の市の状況を具体的な

データとして分析し、その上で、必要な施策を打ち出すという内容にしていくことが大切だと思います。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。ただいまのご意見を踏まえ、特に資料4の第1章から第2章については文章表現や図表をより工夫しながら、わかりやすい表記にするよう努めてまいりたいと思います。

次回の方針の基本的な方向性は、第1章1「策定の趣旨」にも記載したように、現在の方針を一新するようなものではなく、これまでの施策を継続的に進めながら、これからの社会の変化にも対応していくようなスタンスから検討したものとなっております。委員の皆様におかれましては、そうした方向性をご理解いただいた上で、様々な観点からご意見をいただければ大変ありがたいところです。何卒よろしくお願いいたします。

岩並委員 外国人に住みやすいまちを目指すという方向と、日本人の国際理解や、国際交流活動を進めていくというふたつの目標があると理解しています。その中で、具体的な施策のイメージがあれば教えていただきたい。

事務局 外国人に住みやすいまちという点では、一例として、資料4の第4章「施策の方向」見直し例「コミュニケーション支援」の中に翻訳機購入とありますが、多言語翻訳の技術が進歩していることから、窓口などでそうした新しい機器を積極的に活用していく施策などが考えられます。また、「施策の方向」見直し例では、新たな方向として「生活・安全対策」や「教育支援」を加えております。これらは、広い意味では「生活支援」の範疇に収まる内容ですが、印西市としてこれから力を入れていくべき施策として特出した次第です。

岩並委員 国際交流についてはいかがですか。

事務局 国際理解に向けた交流事業については、人の意識を変えていく取り組みでもあり、簡単に成果が出るものではないと認識しておりますが、国際交流協会で様々な交流事業を実施しておりますので、その支援を通じて、着実な取り組みを積み重ねていくことが重要であると考えております。

坂東委員 多文化共生や異文化理解と声高に叫ばなくとも、そういう考えが当たり前の社会になることが大切であると思います。そのために、私ども国際交流協会では日頃から交流イベントなどを行っていますが、今後も様々な活動に地道に取り組み、印西市における国際交流の一翼を担っていきたいと考えています。

岡野委員 市民が国際感覚を身に着けていくには、5年以上の長期的なスパンで啓発活動などを進めていくことが必要だということだと思います。ところで、国際交流協会はどの程度外国人市民に認知されていますか。

坂東委員 団体に所属しているのは国際交流協会が行っている日本語教室の生徒が中心で、交流事業にも積極的に参加していただいています。その他には、知り合いの外国人に声をかけたりしていますが、日本人市民にも外国人市民にもまだまだ周知していく必要があると考えています。

岡野委員 施策の方向に国際交流のメニューが掲載されていますが、例えば大使館の協力を得たり、外国料理の紹介を行うなど日本人と外国人の交流を深める場をつくったり、外国人に市のことを知ってもらうため、市内の名所ツアーを企画するなど、具体的な事業としてできることはいろいろあると思います。

坂東委員 同様の事業では、国際交流協会では以前、東京基督教大学の学生を木下の名所に案内したことがありました。現在も外国人向けの舟めぐりツアーなどの交流事業を企画しております。

議長 他にご意見やご質問はございませんか。ないようでしたら、議題(2)は以上といたします。

6. その他

議長 次第の6. その他ということで、皆様から他になにかございますか。

ディ委員 先ほどの話しに戻りますが、国際交流協会のイベントにはよく参加しています。ただ、外国人同士が固まってしまう、本来の目的である日本人との交流がうまくできていません。簡単ではないでしょうが、企画を工夫していく必要があると思います。

坂東委員 事業は各種実施していますが、個別の内容についてはまた精査してまいります。

許委員 中国や台湾出身のママ友が、印西市はとても住みやすいが、親としては子どもたちが日本語や英語をきちんと学べる大きな学校や塾がほしいとよく話しています。子どもが中学生になったら、そうした学校がある地域に引っ越ししたいという人もいます。

事務局 国の学習指導要領が変わり、公立の小学校でも英語が教科化されたので、これからは印西市の学校でも英語教育が進んでいくものと思います。今後10年間の印西市総合計画の将来都市像が、「住みよさ実感都市 ずっと このまち いんざいで」となっているので、今後もぜひ住み続けていただければと思います。

許委員 わかりました。ありがとうございます。

議長 他にになにかございませんか。ないようでしたら、事務局にお返しします。

事務局 最後に、事務局から連絡です。今回の議事録の署名は、山口委員にお願いいたします。また、これまで出来上がった議事録は郵便でお送りしておりましたが、今後は効率化のため、メールを普段お使いの委員にはメールで議事録をお送りしたいと考えておりますので、事務局でアドレスを把握できていない方については、この後にお伺いいたします。最後に、次回の会議については、来年2月頃を予定しております。会長と相談の上、日程が決まりましたらご連絡いたします。

以上をもちまして、令和2年度第2回印西市国際化推進懇談会を終了いたします。
本日はお疲れ様でした。

令和2年10月16日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和2年11月 5日

会議録署名委員

山口道博